

当院において限局型の小細胞肺癌で化学放射線治療を受けられた方

およびそのご家族の方へ

—「限局型の小細胞肺癌に対する化学放射線療法後の胸椎骨折に関する研究」へご協力の
お願い—

研究機関名 岡山大学病院

研究責任者 陽子線治療学講座 吉尾 浩太郎

1) 研究の背景および目的

非小細胞肺癌、食道癌、膵癌に対する放射線治療後の脊椎骨折は、放射線治療による有害事象の一つとして報告されています。限局型の小細胞肺癌に対する治療では化学放射線療法が標準治療です。化学放射線療法後の胸椎骨折の頻度やリスク因子の検討を行います。リスク因子の検討では胸椎の放射線治療の投与線量に関する因子についても調べます。

2) 研究対象者

2009年1月1日から2022年12月31日に岡山大学病院において小細胞肺癌に対する化学放射線療法を開始した方、約40名を研究対象とします。

3) 研究期間

研究機関の長の許可日～2026年12月31日

4) 研究方法

当院において限局型の小細胞肺癌に対して化学放射線療法を2009年1月1日から2022年12月31日に開始した方で、胸椎骨折の頻度やリスク因子の検討を行います。リスク因子の検討では胸椎の放射線治療の投与線量に関する因子についても調べます。

5) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 年齢、性別、身長、体重、喫煙歴、既往歴、内服薬、診断名、治療方法、再発の有無、生存の有無、放射線治療による副作用
- ・ 血液検査
- ・ 画像検査(CT,MRI,PET-CT)
- ・ 放射線治療情報

6) 情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学病院放射線科医局内で保存さ

させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

本研究で行なう解析はあくまでも研究として行うため、原則、解析の結果はお知らせしません。

内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表する予定ですので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方（ご家族の方等も拒否を申し出ることが出来る場合があります。詳細については下記の連絡先にお問い合わせください。）にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。ただし、すでにデータが解析され、個人を特定できない場合は情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 放射線部

氏名：井原 弘貴

電話：086-235-7313（平日：9時～17時）